

QRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、各議員の一般質問の動画が視聴できます。

創世会
山本裕三



ふるさと納税への更なる取り組みが必要では

Q コロナ禍で市税収入が昨年度比6億円減収となる中、事業者支援としても飲食店との返礼品開発や農作物の出品数増など更なる取り組みが必要と考えるが見解を伺う。

ふるさと納税の強化に取り組んでいく

A ふるさと納税の強化には、基本である良い品、お得な品の出品に加え、次の3つのことが重要と考えています。1つ目は目玉となる返礼品の強化を図ること、2つ目は高額返礼品を出品すること、3つ目は返礼品申し込みサイトを充実させ、多くの寄附者の目に留まるよう工夫することです。今後ふるさと納税の強化に取組む、最終的には商品の購買や関係人口の増加につなげていけ

るよう取り組んでいきます。

浸水対策としてのため池の活用を

Q 県内一、200以上のため池がある本市において、ため池を豪雨時の調整池として活用ができるように豪雨前事前放流、期別毎

低水位管理、洪水吐スリットなどの対策が考えられるが、予想される効果を伺う。



ため池の貯水機能を高める洪水吐スリット

ため池の活用は浸水被害を軽減する効果がある

A 事前放流低水位管理、期別毎低水位管理などのソフト対策や、洪水吐への切り欠きを設置するハード対策などは、河川や下流水路への流出を遅らせることにより、河川等の急激な増水を抑え、浸水被害を軽減する効果があります。

創世会
山田浩司



子どもたちがタブレット端末を活用し学ぶ環境づくりを

Q 市民や学校現場から「接続トラブル」などの声が聞かれる。子どもたちが安心して学ぶために今後、どのようにして接続トラブルを改善していくか伺う。

安定した通信環境の構築を目指していく

A 昨年度、インターネット回線増強工事を行いました。通信環境を大幅に改善しました。現状では大規模校などで一部接続の遅延などの報告を受けておりませんが、モバイルルータの併用やWiFiの再接続等の対応により大部分が改善できています。現在、運用業者と情報共有し、情報収集を行っています。今後、安定した通信環境の構築を目指してまいります。

誰もが楽しめるスポーツを

Q 掛川市の子どもから高齢者が楽しめる取り組みに、今後、障がい者も含めて考えるべきと思う。そこで、「お茶のまち掛川」ということで、例えば、パラスポーツの一つである「ボッチャ」の「チャ」と、お茶の「チャ」を掛けて、「ボッチャ」を推進するという考えはないか伺う。

小中学校や高齢者施設等への普及、啓発に努める

A 掛川市では、パラスポーツの普及を目的に、ボッチャを購入し、体験会等を行っており、小中学校でも活用されています。今後は、「ボッチャ」を体験した後は、参加者みんなでお茶を楽しんでもらえるようなスポーツとして、小中学校や高齢者施設等への普及、啓発に努めていきます。

